

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8577

住 所 川崎市川崎区宮本町1番地

氏 名 川崎市病院局

川崎市病院事業管理者 金井 歳雄 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎市病院局		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎市川崎区宮本町1番地		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	11,395	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 25,026 (調) 24,575	(実) 24,078 (調) 24,098	(実) 21,616 (調) 21,363	(実) 19,355 (調) 19,281	(実) 20,668 (調)
削減率		(実) 3.8% (調) 1.9%	(実) 13.6% (調) 13.1%	(実) 22.7% (調) 21.5%	(実) 17.4% (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量		原単位等の単位			
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	<p>基準年度である2021年度(令和3年度)は新型コロナウイルス感染症対策により直接換気をおこなっていたことから、エネルギー使用量の増加に伴い排出量も増加したが、2022年度(令和4年度)は、空調運転時間短縮や節電努力を意識して実施してきた結果、温室効果ガス排出量は基準年度より3.8%減少した。今後に向けてより一層の削減努力を継続して行っていく。</p>	
第2年度	<p>【川崎病院】エネルギーサービス事業の開始や院内の照明のLED化を進めた結果、排出量の削減に繋がっている。 【井田病院】井田病院において、照明のLED化を行った。 【多摩病院】2023年7月から多摩病院の都市ガスの契約が一新された。新契約では法人(聖マリアンナ医科大学)一括契約によりCGS(常用発電機)の年間最低取引量が撤廃されたことを受け、CGS運転時間を少なく運用したことによりガス使用量が減少し結果として都市ガス温室効果ガス排出量は減少となった。売電に関してははうるう年分を加味すると前年度とほぼ同量の取引量であるが購入先の排出係数が下がったことで実排出量は減少している。</p>	
第3年度	<p>【川崎病院】エネルギーサービス事業による省エネルギー化の取組や院内の照明のLED化を進めた結果、排出量の削減に繋がっている。 【井田病院】照明のLED化が通年で寄与し、排出量の削減に繋がった。 【多摩病院】2024年度は例年よりも夏季の気温が高く、冬季は気温が低いなど、熱源負荷が高くなったが、CGSの運転時間を大幅に減らしたためガスの使用量は1.2%程度減少している。なお、電気使用量は買電量・発電量の総量は0.4%増となった。</p>	
<p>計画期間における排出量増減等の評価(第3年度の報告時に記載)</p>		<p>川崎病院のエネルギーサービス事業により、排出量の大幅な削減ができた。また、照明のLED化等の効果もあり、目標を達成することができた。</p>
<p>上記評価を踏まえた改善対策など(第3年度の報告時に記載)</p>		<p>高能率機器への切替や冷暖房の効率化などに引き続き取り組み、さらなる排出量の削減のため、川崎病院及び井田病院で調達電力の100%再エネ化を実施する。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○川崎病院では、令和5年度エネルギー棟建設によって、老朽化した熱源設備の更新を行い、高効率熱源設備を新規導入する。また、令和4年度から開始している院内照明LED化工事については、今後も未実施箇所の工事を進めていく。 ○井田病院では、院内全LED化の実施及び空調設備二次ポンプ自動制御装置の新設、更にはコロナ収束後には空調、ボイラー設備の効率運転の実施でエネルギーの効率化を図る。 ○多摩病院では、排出量の削減に向けて、インバータ非搭載空調機へのインバータ設置工事を進めていく。令和4年度計画は新規で2台分を設置予定。また、LED照明器具への更新工事を実施していく。 ○施設共通事項として、利用者に直接影響のない事務室内における昼休み時間等の消灯や、ブラインドの管理及びエアコンの適正な設定温度管理を徹底し、発熱、消費電力の削減を図る。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○川崎病院では、令和5年度のエネルギー棟完成に向けて、引き続き建設を行った。また、2021年度(令和3年度)に引き続き全灯LED化における未実施箇所の工事をを行った。 ○井田病院では、引き続き空調機の整備工事(5箇年計画)を実施し、エネルギーの効率化を図った。また、ESCO事業による院内照明のLED化を進めた。 ○多摩病院では照明LED化及び空調機2台に対してインバータ搭載を新規で実施し、効率化を図った。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○川崎病院では、令和5年度にエネルギー棟が完成し、8月からエネルギーサービス事業を開始した。また、2021年度(令和3年度)に引き続き全灯LED化における未実施箇所の工事をを行った。 ○井田病院では、引き続き空調機の整備工事(5箇年計画)を実施し、エネルギーの効率化を図った。また、ESCO事業による院内照明のLED化を行った。 ○多摩病院では、空調スケジュールの見直しや、病室のベッドランプのLED化を実施した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>○川崎病院では、令和5年8月からエネルギーサービス事業を開始し、その中で省エネルギー化の取組を行った。また、2021年度(令和3年度)に引き続き全灯LED化における未実施箇所の工事をを行った。 ○井田病院では、引き続き空調機の整備工事(5箇年計画)を実施し、エネルギーの効率化を図った。 ○多摩病院では、引き続きベッドランプのLED化を進めた。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>川崎病院のエネルギーサービス事業により、排出量の大幅な削減ができた。また、照明のLED化等の効果もあり、目標を達成することができた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	【多摩病院】規模20kWh 年間発電量13,511kWh(2023年)	平成17年度
太陽光発電設備	【井田病院】規模20kWh 年間発電量23,347kWh(2023年)	平成24年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グリーン購入を推進する。 2 廃棄物の減量化、分別化を推進する。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 O A 機器や事務用品のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 3 病院内において、院内の全職員に空調温度の適正化、照明やO A 機器の節電の取り組みを行い省エネに対する意識の向上を図った。(追加実施)
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 O A 機器や事務用品のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 3 病院内において、院内の全職員に空調温度の適正化、照明やO A 機器の節電の取り組みを行い省エネに対する意識の向上を図った。 4 課内で脱炭素についての打合せ体制を整えた。(川崎病院、追加実施)
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 O A 機器や事務用品のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 3 病院内において、院内の全職員に空調温度の適正化、照明やO A 機器の節電の取り組みを行い省エネに対する意識の向上を図った。 4 課内で脱炭素についての打合せ体制を整えた。(川崎病院)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	25,026 t-CO ₂	24,078 t-CO ₂	21,616 t-CO ₂	19,355 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	13,257 KL	12,841 KL	11,870 KL	11,395 KL
事業所の数	4	4	4	4

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎市立川崎病院	川崎区新川通12-1	13,094	12,560	10,673	9,196
川崎市立井田病院	中原区井田2-27-1	6,160	5,651	5,403	4,819
川崎市立多摩病院	多摩区宿河原1-30-37	5,752	5,852	5,530	5,323

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度